南部町のいきものたち ⑱

ヒガンバナ

城山地区にて　（撮影：桐原真希）

■数千年前に日本入り

彼岸花は、日本の秋の里山には欠かせない重要な花となっています。在来の植物と思いたくもなりますが、実は隣の中国大陸が出身地です。確かに外来種ですが、稲作文化と共に数千年前に日本に入って来た生き物は、外来種問題とは別扱いで考えられることが多く、むしろ里山・山里の生態系や景観に歓迎される傾向があります。このような植物を「史前帰化植物」と呼んでいます。人の生活の匂いがする場所で咲き続けて幾千年。春の桜と同様、私たちの遠い先祖も同じような光景を見て来たのかもしれません。

■妖艶なる有毒植物

彼岸花には実に多くの地方名があり、「地獄花」や「しびればな」「しびとばな」など、その数はゆうに百を越えると言われています。恐ろしげな別名は、全草にリコリンという毒を持っていることが由来。特に球根部分に有毒成分が多く、誤って摂取すれば激しい嘔吐を伴った中毒症状を引き起こします。それでもその昔、飢饉の時には手間をかけて毒抜きをし、球根のデンプンを食したそうです。どんな球根なのか一度掘って見てみたいものですが、まだその姿を見ずじまいです。

■初認日と草刈り

開花シーズンは、9月の中頃から10月上旬。町内全域で見られますが、法勝寺川の土手沿い、特にグリコ工場の裏は生育密度が高く、地元の方も意識して管理していらっしゃいます。草刈りの時期が良いと、深紅の群落が見事に際立ち、国道からの景色を彩ります。平成20年からこの5年間の南部町における初認日は、9／17、9／6、9／18、9／15、9／14となっていますので、今年の初認日も何日になるか気になるところです。この初認日の2週間前までに草刈りが終えていれば、とても見栄えがよくなります。しかし作業が出遅れると、せっかく伸びた花芽を草刈り機で一緒に刈り取ってしまうことも。季節の織りなす里山風景の善し悪しは、人の管理作業のタイミングにかかっています。折角の観光資源を上手に活かしたいものです。

自然観察指導員　桐原真希

祐生出会いの館【緑水湖畔】インフォメーション　■開館時間：9時～17時　■休館日：毎週火曜日

『アートとの出会い』

9月1日(日)～10月14日(月)

生活にうるおいをもたらす趣味の生活は、次第に多様で高度なものが求められるようになっています。この特別展がご参考になれば幸いです。

『常設展の展示入替』

郷土玩具、祐生作品の入替をしました。全国の趣味の人たちと深い交流をされた祐生先生の姿が感じられます。

〒683-0351 鳥取県西伯郡南部町法勝寺377番地1　発行／南部町 企画政策課 ☎(0859)66-3113 F(0859)66-4426
制作／NPO法人 なんぶSANチャンネル ☎(0859)66-3331
http://www.town.nanbu.tottori.jp　E-メール nanbusan@town.nanbu.tottori.jp
No.108
PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆インキを使用しております。